

実践編 第七回 『村明細帳④』

「村差出明細帳 宝曆十辰 月日」
(小川家文書 D-4 17)

御水帳壹冊天和三亥近山与左衛門様御檢地

御水帳壹冊元禄二巳近山与左衛門様御檢地

一御除地之事

一屋敷三町三畝歩

江戸市ヶ谷月桂寺末

禅宗 小川寺

一屋敷貳町壹反歩

武州多摩郡三ツ木村長円寺末

〃 妙法寺

一屋敷壹町六反六畝貳拾歩

神明免社家宮崎伊織

一屋敷壹町四反壹畝貳拾歩

山王免社家山口求馬

一屋敷六町壹畝拾歩

発反免名主弥次郎

右八御水帳二御載御除被下候

一堂地壹ヶ所

小川寺抱

一天神免壹ヶ所

芋久保村 石井主税

右八延宝二年寅中川八郎左衛門御檢地之節

【用語】

・除地じよち：領主により年貢諸役を免除された土地

【解説】

前回に引き続き、小川村所有の検地帳、並びに除地の概要です。従来除地は検地を受けておりませんでした。次第に検地の上、除地として登録されるようになりました。小川寺、妙法寺（現国分寺市）、神明宮、山王社（日枝神社）、名主宅に加え、現存していませんが天神社の名が見られます。

次に文字を見ていきましょう。基礎編「表題を読んでみよう」にも登場した『武蔵国』を『武州』ともいいますが、この^ぶ「州」は難解です。これは、私たちが使っている「州」ではなく異体字「𠂔」で記されているのです。「長圓寺」の^丸「圓」は「円」の旧字体です。国構えが^發「い」の様にくずれていますし、到底「円」には見えません。^發「發」も常用漢字と形が違います。これも旧字体「發」で表記されているからです。また、九行目^{被下候}「被下候」も難解です。「被」は^被、^𠂔・^𠂔などで表され頻出です。「候」も^𠂔・^𠂔・^𠂔など数種類パターンがあり、最終的にはただの点になってしまいます。

参考文献 『小平の歴史を拓く（下）』 小平市中央図書館

『くずし字用例辞典』 東京堂出版

『異体字解説字典』 柏書房

『漢字講座3』 明治書院